

令和7年度 長崎大学教育学部附属小学校 学校だより

「らしさ」輝く附属小

第1号 令和7年 4月11日(金) 校長 森内 秀学



「らしさ」輝く附属小を目指します！



初めまして。今年度、10年勤めた附属小に10年ぶりに戻ってきました、校長の森内 秀学（もりうち ひでたか）と申します。時津東小で教職人生をスタートし、時津北小→附属小→県教育庁児童生徒支援室→五島市立緑丘小→時津町教育委員会学校教育課へと異動し、時津小で校長を2年務めたあと、本校に着任いたしました。

人生は、一度切り。だからこそ子どもたちには、自分らしく生きてほしい。私たち教育者がその大切な人生の一部によりよく携わることで、一人一人の子どもがもつ、その子「らしさ」を一層輝かせる手伝いをしたい…。そんな思いがあります。

そこで、つけたキャッチフレーズが、『「らしさ」輝く附属小』。自分「らしさ」は、笑顔があふれ、心がつながり、挑戦を楽しむ学校でこそ育つと考えます。

これから、そんな学校で、自律・協働・創造の視点を意識しながら、好奇心を育む教育をすることで、適切な自己選択・自己決定の力を伸ばし、より、自分らしい自分を創ることのできる子どもを育成していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

10年ぶりに見る附属小の日常～4月初旬～



道の真ん中を校舎に向かって歩く下級生と、その両端で落ち葉を掃く6年生が見えます。20年前から、いやもっと昔から変わらない、附属小の素敵な朝の風景です。



朝の運動場では、たくさんの子どもたちがドッジボールを楽しんでいます。



中庭では、ヤギが2頭、のんびり草を食べています。10年前にはなかった風景です。初めて見たときはびっくりしました。



各教科の授業開きが始まりました。試行錯誤の学びに夢中な様子は変わりませんね。